

第2学年公務員講座学習指導案

学校名	学校法人花巻学院 花巻東高等学校
対象学級	第2学年◇組 ▲▲名(男子◆◆名・女子■ ■名) (教養コース・公務員講座選択者)
指導日時	平成□□年○月××日(△)第※校時
指導者	夏井友也

I 単元名 公務員採用試験(国家Ⅲ種・地方初級)適性試験の解法

II 単元設定の理由

(1) 教材観

公務員採用試験の第1次試験では、教養試験と適性試験が課されている。前者は人文科学・社会科学・自然科学的な内容の知識分野と数的推理・判断推理・文章理解・資料解釈などの知能分野から成り立っており、これらの領域は各教科の学習内容に依るところが大きい。

しかし、後者については公務員としての職業的な適性を測る性質上、文字・図形の処理を正確に行う力や速やかに行う力を測定する試験となっており、前述の教科領域で補いきれない要素が多々含まれている。

生徒にとってはこれまでの学習活動の中では経験することがなかった「適性試験」とは一体、いかなるものなのか、どのように解けばよいのか、また正確かつ速やかに解くにはどのような方法があるのかを身につける必要がある。

そこで、本単元では適性試験の演習を通じて、適性試験の解き方の理解と定着をねらいとした。また、数種類の出題パターンを提示することで、異なる型の出題にも対応できるように、考える力を養うことを主眼に置いて設定した。

(2) 生徒観

学年進行時に教養コースの中で公務員講座を選択した生徒が対象となっているが、実際には、公務員の職種や業務内容、採用方法(受験制限)に関する知識を有していない者がほとんどである。

しかしながら、図形や文字の処理についてはクイズやパズル・ゲームの類として捉えることもでき、興味・関心を喚起することで教科の学習とは異なった習得成果を得ることが期待できる。

(3) 指導観

演習・解答解説の繰り返しでは単調な作業の連続になり、生徒の学習意欲・興味関心を削いでしまうことに陥ってしまい兼ねない。効果的な学習成果を上げるためにも図形処理を机上の作業のみに依存するのではなく、視覚的なアプローチでの図形処理を行ったり、出題パターンに変化を持たせたりすることで、生徒を飽きさせない授業展開にしたい。

III 単元の指導目標

- 1 適性試験の解き方を定着させる。
- 2 出題される文字・図形の処理(分別)の仕方を定着させる。
- 3 出題パターンや出題される文字・図形が異なった体系のものであっても対応できるように、理解を深化させる。
- 4 正確かつ速やかに問題を処理できる技術を身につけさせる。

IV 単元の指導計画（全3時間）

- 第1時 適性試験の解き方の説明と演習、解答・採点（採点方法の周知）
- 第2時 演習問題の解法、出題の類型紹介……本時
- 第3時 複合型の問題演習

V 本時の学習指導

1 主題

問題演習を通して、文字・図形の処理の方法や類題に対応できるようにする。

2 指導目標

- ① 出題意図の正確な把握と適切な解き方を身につけさせる。
- ② 類似した問題の出題意図を適切に把握し、正確で迅速な解き方を定着させる。

3 生徒の目標G（目標行動、評価規準）

- ① 出題で問われている意味を正確に述べられる。
- ② 類似問題にも適切に対応し、出題意図を理解して正解を導き出せる。

4 目標達成までの流れ

G 学習目標に同じ

- ① 例題の「左の図形と全く同じ図形を右の5つの図形（選択肢）から1つだけを選び出す」という、出題の指示内容が理解できる。
- ② 選択肢に示されている図形の矢印の向きや長さ・太さ、対角線の数や角度・位置が左の図形と異なっている図形は正解ではないことが理解できる。
- ③ 正解として選び出される図形とは、図形の中心点から 90° ・ 180° ・ 270° ・ 360° （ 0° ）に平面上で回転処理させた図形が出題意図に合致した「同じもの」（すなわち正解）であることが理解できる。
- ④ 選択肢に示されている図形は前述③の回転処理を施さなければ、正解は導き出せないことが理解できる。
- ⑤ 対称・反転・相似などの前述③の処理方法以外で表示されている図形はこの場合の出題意図に合致していないものであり、正解ではないことが理解できる。
- ⑥ 類題として、「左の図形とは同じではない図形を右の図形（選択肢）から1つだけを選び出す」という出題の指示内容が理解できる。
- ⑦ 選択肢に示されている図形の矢印の向きや長さ・太さ、対角線の数や角度・位置が左の図形と異なっている図形が正解ではないことが理解できる。
- ⑧ 正解として選び出される図形とは、図形の中心点から 90° ・ 180° ・ 270° ・ 360° （ 0° ）に平面上で回転処理させても異なる図形が出題意図に合致した「同じではない図形」（すなわち正解）であることが理解できる。
- ⑨ 選択肢に示されている図形は前述③の回転処理を施して「同じではない図形」であるか否かを判断しなければ、正解は導き出せないことが理解できる。
- ⑩ 対称・反転・相似などの前述③の処理方法以外で表示されている図形はこの場合の出題意図に合致した「同じではない図形」であり、正解にあたるものが理解できる。

5 本時の展開

	学習内容	学習活動		指導上の留意点 教材・教具 評価
		教師の活動	生徒の活動	
導入	前時の確認として再度同内容の適性試験を解く (17分)	演習用のプリントを配布し、正確に時間を計り、問題を解かせる。	配布されたプリントの問題を指示に従って解く。	制限時間15分を厳守する。 解答用マークカードの記入が適切にできているか。 解答順序通りに問題を解いているか。
展開	例題の解き方・解説をまとめる (8分) (10分) (10分)	<p>1 例題での指示内容の周知を徹底させる。(同じ図形)</p> <p>2 出題意図に適合している図形が選択肢の1～5のどれであるか一つひとつ検証する。(90°、180°、270°回転させた図形を示す)</p> <p>3 正解を導き出し、実際に解いてある問題から数題抽出して生徒に説明させる。</p> <p>4 全ての問題の正解を確認し、自己採点をさせる。</p>	<p>1 例題での指示内容の説明を聞いて、出題に合っている選択肢探しの基本方針を理解する。</p> <p>2-A 選択肢1～5の回転図を見て、問題を解く際に同様の図形の回転がイメージできるようにする。</p> <p>2-B 選択肢1～5の回転図からどれが出題意図に沿った解答になり得るのかを捉える。</p> <p>3 指示された問の解き方を発表する。</p> <p>4 全ての問題の答え合わせをし、自分の得点を算出する。</p>	<p>1-A 出題では「同じ図形」を問うているが、問題をよく読まない場合「同じではない図形」を問うていると謝ってしまう場合があることに注意を払う。</p> <p>1-B 出題での「同じ図形」とは、平面上で回転させたものまでを含み、反転させたり、上下・左右が入れ替わったりしたものは含まないことに気づかせる。</p> <p>3 解き方の方向性に誤りがある場合は適宜修正を行う。</p> <p>4 (正答数) - (誤答数) = (得点) であることについて再度注意を促す。</p>
終末	類題を紹介する。それらの問題にも対応できるようにする。 (8分)	類題を紹介し、それらの問題にも対応できるように解く際に注意を払わなければならないポイントを示す。	どのような出題パターンがあるのかを理解し、問題を解く際に注意しなければならない部分を把握する。	採点方法が特殊なものである。 ① 出題された順に解くこと ② 正確さを高めること ③ 短時間で解けることの重要性を理解させ、次回はさらに高得点得られるよう、生徒の学習意欲の高揚に資するよう心掛ける。